

ブドウ「ピオーネ」「巨峰」「紫玉」の無核栽培におけるジベレリン処理省力化を図るための開花期1回処理					
<p>[要約] 無核栽培するブドウ「ピオーネ」、「巨峰」、「紫玉」のジベレリン処理は、1回目処理時にフルメット液剤10ppmを混用すると、開花後の1回のみでの処理で結実、果実品質ともに従来の2回処理（開花期+1回目処理10日後）とほぼ同等の果実生産ができ、2回目処理の必要がなく省力化となる。</p>					
果樹試験場・落葉果樹研究担当				連絡先	0952-73-2275
部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	ブドウ

[背景・ねらい]

ブドウ「ピオーネ」、「巨峰」、「紫玉」の無核果実生産には開花期のジベレリン処理が結実安定に有効であるが、これまで慣行として行われている2回処理（開花期+1回目処理10日後）では労力がかかる。そこで、満開期1回のみでのジベレリン処理における結実性および果実品質を調査し、ジベレリン処理の省力化を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 「ピオーネ」の着粒数は1回処理が2回処理より多く、無核果率は差がない（表1）。果実品質は1回処理の1粒重がやや小さく、糖度がやや低いですが果色は差がなく、2回処理とほぼ同等となる（表2）。
2. 「巨峰」の着粒数は1回処理が2回処理より多く、無核果率はやや低いですが、1房あたりの無核果数は多い（表3）。果実品質は、1回処理の1粒重がやや大きく、糖度はやや低いですが、果色は差がなく、2回処理とほぼ同等となる（表4）。
3. 「紫玉」の着粒数は1回処理がやや少なく、無核果率がやや低い（表5）が、果実品質は2回処理と大きな差はなく、ほぼ同等となる（表6）。

[成果の活用面・留意点]

1. ジベレリン1回処理はジベレリン25ppmにフルメット10ppmを混用して果房浸漬する。この方法は平成15年12月に農薬登録済みである。
2. 1回目のジベレリン処理は「ピオーネ」、「巨峰」は満開3~5日後に、「紫玉」は満開3日後に行い、時期を逃さないようにする。
3. 無核栽培は樹勢が弱い樹では結実や無核果率が悪くなるので、樹勢の維持に努める。
4. 着果過多は着色不良や低糖度の原因になるので適正着果量を守る。

[具体的データ]

表1 「ピオーネ」のジベレリン1回処理における着粒数と無核果率

処理区	着粒数(果/房)	無核果数(果/房)	無核果率%
ジベレリン1回区	71.3	70.7	99.2
慣行区	62.7	62.5	99.7

(2002年4月26日調査)

表2 「ピオーネ」のジベレリン1回処理における収穫時の果実品質

処理区	果房重g	着粒数	一粒重g	果色	糖度	酸含量%
ジベレリン1回区	659.4	48.4	13.8	10.1	16.8	0.65
慣行区	553.9	38.2	14.5	10.4	17.7	0.64

(2002年7月9日調査)

表3 「巨峰」のジベレリン1回処理における着粒数と無核果率

処理区	着粒数(果/房)	無核果数(果/房)	無核果率%
ジベレリン1回区	71.6	62.5	87.3
慣行区	61.3	55.6	90.7

(2002年4月24日調査)

表4 「巨峰」のジベレリン1回処理における収穫時の果実品質

処理区	果房重g	着粒数	一粒重g	果色	糖度	酸含量%
ジベレリン1回区	571.0	43.9	13.1	9.7	17.0	0.54
慣行区	564.4	44.1	12.8	9.8	17.6	0.55

(2002年7月16日調査)

表5 「紫玉」のジベレリン1回処理における着粒数と無核果率

処理区	着粒数(果/房)	無核果数(果/房)	無核果率%
ジベレリン1回区	50.0	46.3	92.7
慣行区	67.0	65.3	97.5

(2002年4月24日調査)

表6 「紫玉」のジベレリン1回処理における収穫時の果実品質

処理区	果房重g	着粒数	一粒重g	果色	糖度	酸含量%
ジベレリン1回区	480.5	40.8	11.9	11.0	18.8	0.65
慣行区	490.7	43.0	11.4	11.4	19.1	0.61

(2002年7月2日調査)

[その他]

研究課題名：ブドウ新品種の生産安定と省力化栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成10～16年

研究担当者：福田浩幸、稲富和弘、前山美和

発表論文等：平成14年度落葉果樹試験研究成績概要集